

団体名 NPO 法人 ぎょうだ足袋蔵ネットワーク

事業計画書

<p>事業名</p>	<p>町を生き生き応援隊養成講座 —ほしい未来は自分でつくろう!—</p>
<p>事業の概要と目標</p>	<p>・地方都市の人口減少、空き屋対策の一環として町の魅力を掘り起こし、既存視点からの脱却を図る事に依り、町の活性化に役立つ人事材育成を目指す。</p>
<p>事業の内容</p> <p>※事業内容は、項目毎の詳細を記入してください。</p> <p>※各会場での募集人数、具体的な内容を記入してください。</p> <p>※箇条書きや図を使用するなど分かりやすい表現を心がけてください。</p>	<p>・まちを再確認、再評価し現状を把握する。 活用事例発表（専門家ボランティア登録者の実践事例） 講師：本庄市・妻沼市・行田市の事例 （改修事例、活動事例） 参加者の課題解決に向けたアドバイス（会場・講師共） [募集予定 50名]</p> <p>・人を活かし、町と自分を元気にする 女性視点で町を元気にする場作りを考える 講師：杉戸町の事例&ミニワークショップ [募集予定 50名]</p> <p>・ブランディングデザインの実践 地域・町・企業・自分のブランディングを、実践を通して学ぶ 講師：企業の事例&ミニワークショップ [募集予定 50名]</p> <p>※それぞれ、参加者の課題を例に参考解を探す。</p>
<p>事業の実施体制</p> <p>※連携して事業を行う団体の団体名・代表者名・団体所在地、連絡先・各団体の事業概要を記入ください。</p> <p>※専門家ボランティアに登録されている人材がどのように関わるかについて記入してください。</p>	<p>・本庄まちネット（会長 戸谷正夫・戸谷正夫建築設計事務所代表） 〒367-0054 本庄市千代田 4-2-4 +二の蔵 本庄市のまちづくりに関わり、実践事例、活用事例多数</p> <p>・ちょいなか（代表 矢口真紀） 〒345-0036 北葛飾郡杉戸町杉戸 3-9-29 子育て世代の女性に講座やワークショップを通して連携を図り地域での活躍の場を広げ、</p> <p>・index design（代表 宇佐美 由里子） 〒350-2201 鶴ヶ島市富士見 3-1-402 デザイン業務を通して、企業・事業のブランディングデザインを手がける</p> <p>※専門家ボランティア登録者が主に講師を勤める。 足袋蔵ネットワークで事務局を勤める。</p>

<p>事業計画</p> <p>※記入しきれない場合は別紙で結構です。</p>	<p>○事業のスケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月</td> <td>日程調整・決定、概略広報の開始、詳細内容の詰めプログラム間の調整、詳細を含めたパンフレットの作成、広報開始</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>第1回講座、講座内容の様子を広報</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>第2回講座、講座内容の様子を広報</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>第3回講座、講座内容の様子を広報</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>参加者交流会</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>報告書作成</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	時期	内容	6月	日程調整・決定、概略広報の開始、詳細内容の詰めプログラム間の調整、詳細を含めたパンフレットの作成、広報開始	7月		8月	第1回講座、講座内容の様子を広報	9月	第2回講座、講座内容の様子を広報	10月	第3回講座、講座内容の様子を広報	11月	参加者交流会	12月		1月	報告書作成	2月	
時期	内容																				
6月	日程調整・決定、概略広報の開始、詳細内容の詰めプログラム間の調整、詳細を含めたパンフレットの作成、広報開始																				
7月																					
8月	第1回講座、講座内容の様子を広報																				
9月	第2回講座、講座内容の様子を広報																				
10月	第3回講座、講座内容の様子を広報																				
11月	参加者交流会																				
12月																					
1月	報告書作成																				
2月																					
<p>募集方法・広報計画</p> <p>※時期、協力団体、募集の声かけ先、手段、回数など</p> <p>※インターネットによる情報発信は必須</p>	<p>・facebookpage、twitter に依る参加者募集。有料枠を利用して、広報の拡大。(事業決定スケジュールによる)</p> <p>足袋蔵ネットワークの page (フォロワー数 575 人) からのリンク</p> <p>受付は、メール及び足袋蔵まちづくりミュージアムにて電話受付を行う(Fax も可)。</p>																				
<p>費用の工夫</p>	<p>14 年間活動を継続しており、現在までの人的ネットワークを活用して広報を広げる。受付担当事務は足袋蔵まちづくりミュージアムで兼務して行えるので、専用の専従者を置かず電話対応が行え経費削減可能。</p>																				
<p>事業効果</p> <p>※この取組によってどのような効果が期待できるか。</p>	<p>実践している実務者が事例発表・講師であり、適切なアドバイスが行え、単なる座学に終始しない。埼玉北部で行う事により、人工集積地には無い問題解決方を探り、地域間格差を縮小する。</p>																				
<p>事業の発展性</p> <p>※事業終了後の講座修了者へのサポートはどのように行うか。</p> <p>※来年度以降どのように事業を発展させていくか。</p>	<p>講師は専門家ボランティア登録者で有り、実情に即したサポートは継続可能で、北部の地域連携も図れる。</p> <p>講座修了者にも専門家ボランティアとして登録してもらえる様、それぞれの団体に参加を促し、継続したブラッシュアップを促進する。</p> <p>次年度以降、参加者の要望や手応えに応じステップアップした講座を設ける。</p> <p>既に我々や、講師が実施しているイベント・事業を、活躍する実践の場として提供出来る。</p>																				